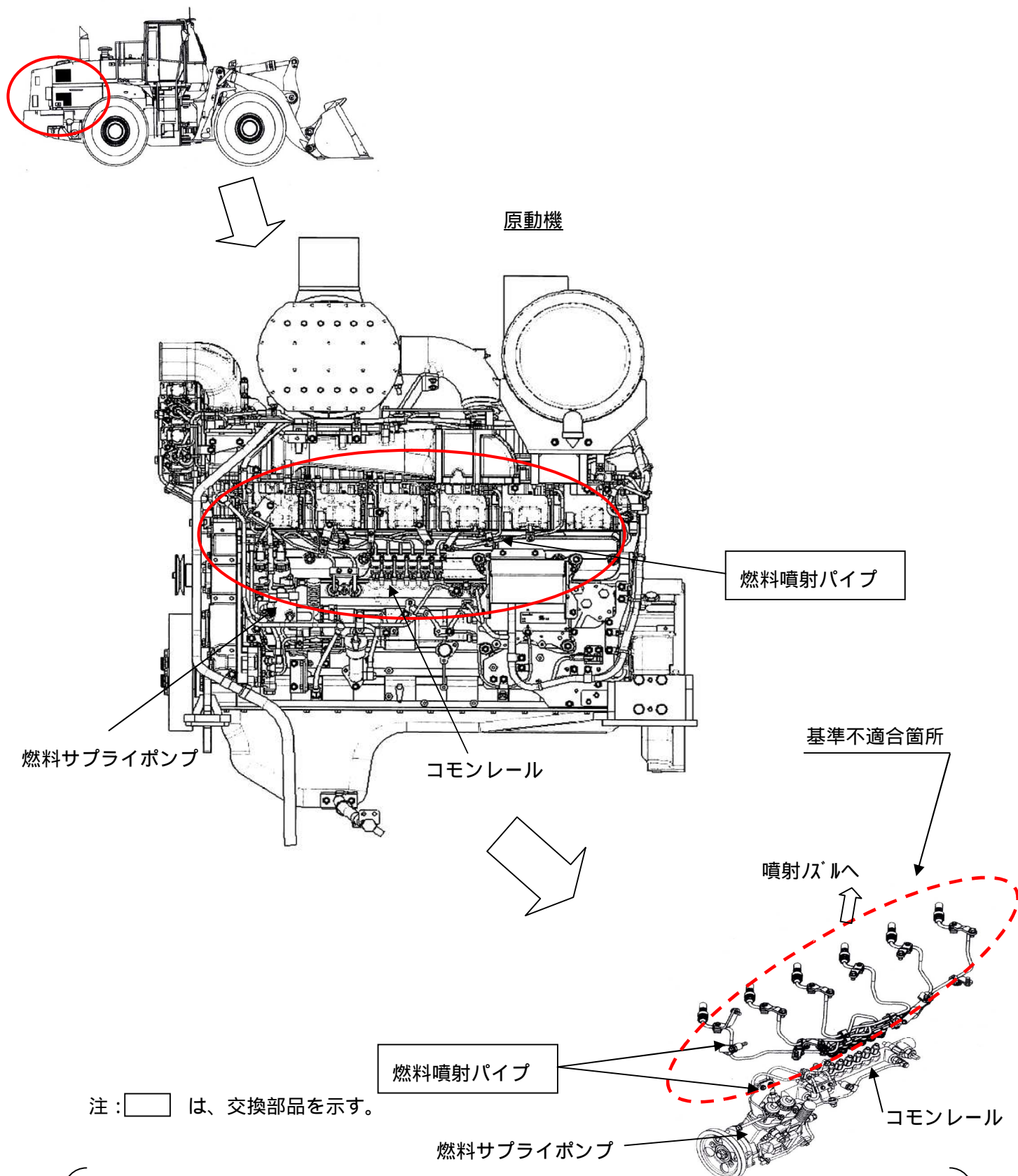




燃料噴射パイプの製造のばらつきにより、当該パイプ内部に傷ができ、強度が不足しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、燃料噴射時の圧力変動により、傷を起点に亀裂が発生し、最悪の場合、燃料噴射パイプから燃料が漏れるおそれがある。

改善措置： 全車両、原動機の燃料噴射パイプを対策品に交換する。

識別： シリンダヘッドのカバー部に白ペイントを塗布して識別する。